

台風や大雨によって引き起こされる風水害や土砂災害は、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の防災マップで土砂災害危険箇所や浸水想定区域を把握し、日頃から気象情報には十分注意しましょう。

⚠️ 避難を判断する災害情報の表現が変わりました! (避難のタイミングを明確化)

警戒レベル	防災気象情報・水位情報等 (気象庁、国土交通省、都道府県)	市からの避難情報等	住民がとるべき行動
警戒レベル 5	自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (市町村の避難勧告等の発令に資する情報) 土砂災害警戒情報、 警戒、危険度分布 等	行動を促す情報 災害の発生情報 (出来る範囲で発表)	既に災害が発生しており、 命を守るための最善の行動
警戒レベル 4	・住民の自発的な避難に資する 情報を公開 ・気象庁と施設管理者等が連携し、 避難情報のレベルごとに、発令に 資する情報を市町村へプッシュ 情報を基本として提供	避難勧告 避難指示(緊急)	・速やかに立退き避難 等 ・直ちに命を守る行動 (事態が切迫している場合 等)
警戒レベル 3		避難準備・ 高齢者等避難開始	高齢者等は立退き避難 その他の者は立退き避難準備をし、 自発的に避難
警戒レベル 2	行動を促す情報 注意報		避難に備え自らの避難行動を確認する ・防災マップ等により災害リスク、避難場所や 避難経路、避難のタイミング等を再確認 ・避難情報の把握手段の確認、注意 等
警戒レベル 1	早期注意情報(警報級の可能性) (警報級の現象が予測されるときに、その 可能性を高・中の2段階で発表する情報)		災害への心構えを高める ・防災気象情報等の最新情報に注意 等

※住民の避難行動は、各個人の居住地の地形、住宅構造、家族構成等の違いに応じ、適切な避難行動、避難のタイミングは、各個人で異なることに注意が必要。
※警戒レベル1～5は必ずしも順番にすべて発表されるものではないことに注意が必要。(例えば、急激な気象状況の変化により警戒レベル3・避難準備・高齢者等避難開始が発令されず、警戒レベル4・避難勧告や避難指示(緊急)が発令されることもある)
※避難勧告等は、市が総合的に判断して発令するものであることから、避難勧告等の発令に資する情報が出されたとしても発令されないことがある。

安全な避難のために!

災害から安全に避難するためには、市のお知らせや気象情報など、災害に関する情報をきちんと把握し、早めに避難を行うことが大切です。

避難のための備え

- **避難場所・経路の事前確認**
避難場所までの安全な経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、日頃から安全に行けるか確認しておきましょう。
- **正確な情報収集を**
ラジオ・テレビなどからの市のお知らせや気象情報には十分注意しましょう。

- **非常用持出品の用意**
平時から非常用持出品として、ラジオ、懐中電灯、食料、飲料水等を手近に用意しておきましょう。



避難時の心得

- **持ち物は最小限に**
荷物はリュックなどに入れ、両手が使えるようにしましょう。
- **隣近所の安全確認**
避難が必要になった際には、可能な範囲で隣近所への声かけを行い、けが人、行方不明者がいないか確認しましょう。
- **お年寄りなどの避難に協力を**
お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。隣近所で声を掛け合い、近所のお年寄りや子ども、病気の人の避難に協力しましょう。



- **マンホールや側溝に注意を**
大雨や津波の浸水により、マンホールの蓋が外れることがあります。浸水している状況では、マンホールや側溝が分からない場合もあるため、万が一、浸水している場所を避難するときには、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。



- **避難の際には危険な場所を通らない**
大雨や地震などの際には、いつ、どこで土砂災害が発生するかわかりません。普段から危険箇所を確認しておき、避難の際には危険な場所を通らないように努めるとともに、2人以上での行動を心がけましょう。

避難方法

逃げ方は、立退き避難が基本です

安全な場所まで立退き避難

直角に逃げましょう!
特に土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

屋内安全確保

土砂災害がすでにおこってしまったり、浸水がすでに始まり、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

建物の2階以上の斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難しましょう。大雨が上がっても少なくとも一日は油断せず注意が必要です。

避難の余裕がない場合や避難行動が遅れた際には、「命を守る最善の行動」をとってください。

災害時の生活必需品を準備しておこう

災害は、いつどこで起こるかわかりません。いざというときのために、日頃からの備えが必要不可欠です。災害時の非常用持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

常時携行品

非常持出品の中から、外出先で被災した場合に役立つものを選び、普段持ち歩くバッグなどに入れておきましょう。

【常時携行品チェックシート】

品名	メモ
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	
<input type="checkbox"/> 笛・ホイッスル	閉じ込められたときなど、場所を知らせます。

品名	メモ
<input type="checkbox"/> 避難カード	自宅や勤務先、家族などの連絡先メモ
<input type="checkbox"/> 避難用マップ	徒歩帰宅などに役立つもの
<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器	モバイルバッテリー

非常持出品

避難の際に緊急的に持ち出す物を必要最小限に絞り込み、リュックなどに入れて目のつきやすいところに置いておきましょう。

【非常持出品チェックシート】

品名	メモ
貴重品	
<input type="checkbox"/> 現金(小銭)	公衆電話用に10円玉を準備
<input type="checkbox"/> 預貯金通帳(コピー)	番号を控えたメモかコピーなど
<input type="checkbox"/> 印鑑	
<input type="checkbox"/> 保険証(コピー)	番号を控えたメモかコピーなど
<input type="checkbox"/> 運転免許証(コピー)	番号を控えたメモかコピーなど
避難用具	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	一人にひとつあることが望ましい
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	防災ラジオ
<input type="checkbox"/> 予備の乾電池	
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	
生活用品	
<input type="checkbox"/> 厚手の手袋	軍手
<input type="checkbox"/> 毛布	簡易ブランケット
<input type="checkbox"/> 缶切り	
<input type="checkbox"/> ライター・マッチ	ロウソク
<input type="checkbox"/> ナイフ	
<input type="checkbox"/> 携帯用トイレ	
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ	
<input type="checkbox"/> 水筒	
<input type="checkbox"/> ほ乳瓶	

品名	メモ
救急用具	
<input type="checkbox"/> 救急箱	絆創膏・消毒液、その他日頃使っているサプリメント
<input type="checkbox"/> 処方箋の控え	お薬手帳
<input type="checkbox"/> 胃腸薬・便秘薬・持病の薬	処方箋の控えやお薬手帳と一緒に用意
<input type="checkbox"/> 生理用品	
非常食品	
<input type="checkbox"/> 乾パン	そのまま食べられるもの、3日分を見据えた準備
<input type="checkbox"/> 缶詰	
<input type="checkbox"/> 栄養補助食品	
<input type="checkbox"/> アメ・チョコレート	
<input type="checkbox"/> 飲料水	ペットボトル(500ml)を3本以上
衣料品	
<input type="checkbox"/> 下着・靴下	
<input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン	動きやすいもの
<input type="checkbox"/> 防寒用ジャケット	
<input type="checkbox"/> 雨具	レインコート
<input type="checkbox"/> 携帯用カイロ	